

次期ごみ処理施設の検討について

本市におけるごみ処理施設（ごみ焼却施設・破碎選別施設）は、平成 11（1999）年 4 月に共用を開始し、平成 29 年度で 19 年目を迎えております。

現ごみ処理施設では、「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」明石市一般廃棄物処理基本計画（平成 28 年度改定）の基本施策 8「今ある施設を最大限活用」に計画しているとおり、計画的な点検補修等適正な管理を行い、安定的な稼働に努めているところです。

しかしながら、経年に伴う老朽化が進んでいる状況であり、また、ごみ量の減少などから、現施設でのごみ処理は非効率な面があるため、将来的なごみ処理施設の整備・運営に向けて計画の具体化を図っていきます。

【今後の検討について】

次期ごみ処理施設について、本市にて環境負荷の低減や大規模災害に対する強靱な処理システムの構築が図られた施設となるよう検討を進めていき、本審議会におきましては、初めに多くの市民に利用される多機能型施設についての検討を中心にご意見やお知恵を拝借して参りたいと考えております。

以 上